



兵庫県立篠山東雲高等学校

自然科学部 ウシガエルプロジェクト

篠山城堀における外来生物の駆除活動

篠山城の堀には、多くの外来生物が生息しています。私たちは、この外来生物の駆除活動を始め、ウシガエル、ブルーギルなど合計1万匹以上、約65kgの駆除を行いました。駆除されたウシガエルは肉の部分をミンチにしてライスバーガーに、アメリカザリガニはエビチリにして食材としての可能性を研究しました。食材に使えないものは肥料にして丹波黒大豆の生育に役立てる研究を行っています。



ほかの高校へ 応援メッセージ

地方大会の発表動画を見て投稿していただいた応援メッセージをご紹介します。

メッセージ投稿高校

京都府立宮津高等学校・
京都府立宮津天橋高等学校
フィールド探究部 巨樹班

応援先高校

兵庫県立篠山東雲高等学校
自然科学部
ウシガエルプロジェクト

外来生物を「生かす」視点が非常に面白いと思います。どうしても悪者扱いされて、「駆除」の対象になってしまう存在ですが、資源として活用していくことで解決を目指そうというコンセプトに感銘を受けました。題名には駆除という文字がありますが、どちらかという活用の色が濃いと感じました。クリエイティブティーに拍手を送りたいです。

岡山学芸館高等学校

マッド・コロネーズ

“里海の聖地”におけるアマモ場再生活動と牡蠣殻を用いた干潟保全

2018年、米子湾干潟に清掃のため重機が入った。この人為的攪乱が干潟に生息するベントスたちにどのような影響を与えたのか調査した。2019年にはベントス量、ウミミナナの優占率が大幅に減少したが、2020年には干潮汀線近くでベントス量が回復した。干潟表層の複雑性が回復し、日々の潮汐を「中規模攪乱」として生物多様性が回復していることが示唆された。さらなるベントス量回復が見られるか調査する。

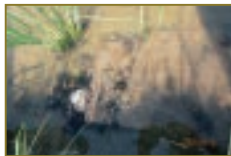


岡山県立邑久高等学校

自然環境チーム

スクミリングガイ捕獲大作戦

南米原産のスクミリングガイ(通称ジャンボタニシ)は、稲を食害するため特定外来種に指定され、駆除の対象になっている。本研究では、スクミリングガイを効果的に駆除するため、誘引・捕獲実験を実施した。無料で入手できる米ぬかとダンボールを組合せ、貝を網ですくい取る方法は、簡便で効果的に駆除できることを立証できた。捕獲した貝の有効利用についての研究にも、今後取り組みたい。



岡山県立笠岡高等学校

サイエンス部&海の豊かさを守ろう班

広がれ!カブトガニの保護活動~カブトガニは豊かな未来のキーパーソン~

2016年、カブトガニ研究チームが結成されました。当初は、「生息・繁殖できる環境の保護」をテーマに啓発活動を行いました。清掃活動の他、カブトガニ博物館の御協力の下、人工飼育池での光の反応実験や現地調査、笠岡湾に流れ込む河川の水質調査・研究も実施しています。休眠期と海水温度の関係についても現在実験・研究中です。これからも部員一人一人が、あらゆる角度から挑んでいきます!



岡山県立玉野高等学校

チーム小麦

ゆめちから栽培プロジェクト

作物に与える肥料中の窒素量を、より少なくして品質の良いものができれば、酸性雨や温暖化の原因物質へと変化する余剰窒素を抑え、環境への負担を減らすことができると考えています。私たちが栽培したパン用小麦「ゆめちから」では、窒素量と収穫量、グルテン含有量の関係と比較した結果、標準窒素量に対して75%の窒素量で育てた小麦の収穫量が最も多く、グルテン含有量も最も良い値となりました。



広島県立祇園北高等学校

科学研究部

太田川におけるプラスチックごみの輸送過程と、効率的な回収についての研究

太田川の水質は「きれい」という結果が毎年出ているが、環境汚染物質のMP(5mm以下のプラスチック)が、川底に150個/m²の密度で発見された。本研究では、川の流れをGPSと目視で観測し、水面のMP(ごみ)がどこに輸送され蓄積するのかを調べることを目的とした。結果、川の上流と下流で潮汐の差が大きく関係し、MP(ごみ)が滞るであろうタイミングと場所を推定することができた。



広島県立世羅高等学校

農業経営科 アロマプロジェクトチーム

ネズミサシを用いたアロマオイルで里山保全を~未利用資源の新たな利用価値を見つけよう~

広島県世羅町は、放置山林が問題となっています。何か対策がないかと考え、近年、松枯れにともないネズミサシが増えていることに着目しました。活用方法として、アロマオイルが抽出できますが、アロマオイルの知名度が低く、活用の場が少ない現状があります。このオイルをスポーツアロマに特化することで販路を拡大し、売り上げの一部を里山保全に活用することを考え、活動をはじめました。



島根県立江津工業高等学校

エクステリアコーディネート班

エクステリア ~瓦の可能性~ (ICTの利用)

「環境を考える。持続可能な生活を考える。」を考慮した活動を行っている。地域で出来る事として、地域産業を基礎に生活圏を発展できる事への挑戦を考えている。瓦産業で出た廃棄物(産業廃棄物)を環境に優しい使い方、人々の生活への癒やしに繋がる活用について企業に相談にのって貰いながら、また行政に支援して貰いながら進めている。地域の生活に貢献できるか活動に取り組んでいきたい。

